



議会だより

No. 109

平成28年4月
発行/鳥取県日野町議会



3月定例会 主な内容

- ・高校生傍聴・条例・補正…… p 2～3
- ・28年度当初予算 …… p 4～5
- ・一般質問（7人） …… p 6～12
- ・委員会活動報告 …… p 13～15
- ・特集コーナー …… p 16

おしどりの作業所／自動車部品の作業中

(裏表紙に関連記事)

日野高校生が議会傍聴

とても良い経験に！

選挙権が18歳になることから、日野高校の2年生21人が、平成28年3月15日に日野町議会を傍聴し、率直な感想を議会に寄せてくれましたのでご紹介します。

○短時間でしたが、初めて傍聴し、とても良い経験になりました。

日野町の人口減少、空き家の増加など、解決するのが極めて困難な問題を皆さんが話し合いをされ、少しでも日野町をよい方向に持っていくとしていて、スゴかったし、傍聴していても面白かったです。

日野町のますますの発展を願っています。

○初めてみたけど、すごいなと思った。

○最高！よかった(2名)

○すごかったです。

○たくさんの意見がでていてすべての案が通ればいいと思うけれど、決められたお金の中から、どう工夫して使うかというのは、難しいことだなと思いました。

そして、学校児童の食物アレルギーについてもこういう場で話しあうんだなと思いました。

○さまざまな情報が、いきさきしてるのがわかりました。

○初めて傍聴にきました。議会の内容が難しく、理解するのが大変でした。

○話が難しい。(2名)

○質問に対して町長さんは、あいまいな答えでちゃんと考えているようにみえなかった。

○私たちには、難しい単語などが多く、理解できるようこれから学んでいきたいと思いました。

いい経験をさせていただきありがとうございます。

○発言時間が思ったより長かったけど、内容によっては短かいと思った。

○「議長」といって意見を言う所を聞いた時、テレビで見たのと同じだと思ってすこし興奮しました。

途中でケンカになるんじゃないかと思ってこわかったです。

町民の意見を代わりに言っていて議論して、議員の人も楽しめないと感じました。

○すごかった。日本語とは

おもえなかった。聞きとれないスピードだった。

○あの、ピリピリした雰囲気は、やっぱりにがて。

○町内のことについて、町民の人たちの声を参考にしたい、町をより良いものにして、と話し合われており、とても感動しました。

○自分が思っていたより中が広くてびっくりしました。とても真剣に話しておられていて、日野町のことを本気で考えているんだなと思いました。

○話を聞いて、とても難しい事をしてると思いました。議員さんの特に聞いた案件で、光回線の話しになった時、町長さんが「そこはまだ段階で、白黒はっきりしていかない」と言った。議員さんが「白黒はっきりしてもらわないと困る」と怒った言い方になった時、ケンカするかと思った。とてもいい話だった。



傍聴する高校生



「産業振興課」と「建設水道課」になりました。

条例(三月議会)

○日野町課設置条例の一部改正について
 多様化する業務及び住民ニーズに対応するため、産業振興課を2課(「産業振興課」と「建設水道課」)に分ける。

平成28年4月1日施行

○日野町農業委員会の農業委員及び農地利用最適化推進委員の定数について
 委員が、公選から町長の任命へ変更、定数は5人。
 農地利用最適化推進委員を

設置、定数は3人。
 いずれも平成28年4月1日施行

○日野町過疎地域自立促進計画の策定。
 (平成28年度から平成32年度までの5ヶ年計画)

○日野町農産物加工所の指定管理者の指定
 鳥取西部農業協同組合に。(協定締結後から平成31年3月31日まで)

○日野町職員の給与に関する条例の一部改正

○日野町職員等の旅費に関する条例の一部改正

○日野町税条例の一部改正

○日野町地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の制定

○日野町農用地整備事業の経費の賦課徴収に関する条例等の廃止

○日野町簡易水道等施設の設置及び給水に関する条例の一部改正

○行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例

○日野町特別職の職員で非

常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

平成27年度日野町一般会計補正予算(二月議会)

○歳入の主なもの

- ・ 町税 市町村たばこ税 △376万円
- ・ 国庫支出金 7254万円
- ・ 県支出金 △1582万円
- ・ 寄附金 1050万円
- ・ 町債 100万円

○歳出の主なもの

- ・ 地方創生加速化交付金 4419万円
- ・ 情報セキュリティ強化対策事業補助金 2053万円
- ・ 低所得の高齢者向け給付金事業 2797万円

第二回議会臨時会(二月議会)

○日野町世帯向住宅設置及び管理に関する条例の制定について

○日野町税条例の一部を改正する条例の一部改正について

○日野町職員の給与に関する条例の一部改正について

○日野町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正について

○日野町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について

平成27年度日野町簡易水道特別会計補正予算(第三号)

| | | |
|----|-----|------|
| 歳入 | 繰入金 | 38万円 |
| 歳出 | 人件費 | 5万円 |
| | 修繕料 | 33万円 |

報償費 50万円
 除雪に伴う修繕料 30万円
 借上料 43万円
 特別会計繰出金 42万円

平成27年度日野町公下水事業特別会計補正予算(第二号)

| | | |
|----|-----|-----|
| 歳入 | 繰入金 | 4万円 |
| 歳出 | 人件費 | 4万円 |

以上の議案は、すべて可決されました。

◇人権擁護委員候補者の推薦にあたり議会の意見を求めることについて

山根美奈子(野田)
 山形 知博(下菅)
 両氏の選任に同意

任期
 平成28年7月1日から平成31年6月30日までの3年間

平成28年度 第3回日野町議会定例会 (3月2日～17日)

平成28年度 当初予算決定

「きざり日野町創生戦略」

○創生戦略の柱として移住・定住に集中的・重点的に取り組む。

総額 32億972万円
(前年度比0.2%増額)

- ①子育て・教育
 - ・子育て世代包括支援センター
 - ・妊娠期から子育て期にわたるまで総合的相談支援を実施する。(ネウボラ)
 - ・日野中学校ICT教育環境の整備。
 - ・タブレットと電子黒板等を導入。
- ②若者移住・定住促進
 - ・お試し住宅整備事業

- 町内の空き家を借り上げ、お試し住宅として活用する。
- ・世帯向け定住住宅
- ・子育て世代の家族が安心して暮らせる町営住宅2棟を、昨年に続き野田地区に建設する。
- ③医療と保健・福祉の連携
 - ・日野病院と鳥取大学との連携強化
 - ・地域包括ケアシステムの構築に参画・助言を行うなど住民向けの健康講座、小中学校での「命を考える授業」など、健康寿命事業を新規に取り組む。



世帯向け定住住宅(野田)

各会計当初予算 (単位:千円)

| 区分 | 本年度予算額 | 前年度当初予算額 | |
|---------------------------|---------------|-----------|---------|
| 1. 一般会計 | 3,209,723 | 3,202,538 | |
| 2. 特別会計 | 国民健康保険特別会計 | 447,851 | 461,083 |
| | 介護保険特別会計 | 653,983 | 619,496 |
| | 後期高齢者医療保険特別会計 | 53,245 | 57,267 |
| | 簡易水道特別会計 | 95,109 | 97,968 |
| | 公共下水道特別会計 | 110,518 | 100,880 |
| | 農業集落排水事業特別会計 | 44,964 | 49,881 |
| 鳥取県西部町村情報公開・個人情報保護審査会特別会計 | - | 472 | |
| 計 | 1,405,670 | 1,387,047 | |
| 合計 | 4,615,393 | 4,589,585 | |

一般会計歳出予算性質別集計表 (単位:千円)

| No. | 科目 | 本年度 | 前年度(当初) | 比較増減 |
|-----|----------|-----------|-----------|----------|
| 1 | 人件費 | 612,779 | 605,242 | 7,537 |
| 2 | 物件費 | 423,683 | 361,021 | 62,662 |
| 3 | 維持補助費 | 39,206 | 34,066 | 5,140 |
| 4 | 扶助費 | 271,218 | 273,856 | △2,638 |
| 5 | 補助費 | 976,832 | 834,481 | 142,351 |
| 6 | 普通建設事業費 | 216,997 | 177,570 | 39,427 |
| 7 | 災害復旧事業費 | 0 | 0 | 0 |
| 8 | 失業対策費 | 0 | 0 | 0 |
| 9 | 公債費 | 287,331 | 539,437 | △252,106 |
| 10 | 積立金 | 7,247 | 3,119 | 4,128 |
| 11 | 投資及び出資金 | 0 | 0 | 0 |
| 12 | 貸付金 | 2,800 | 2,800 | 0 |
| 13 | 繰出金 | 366,630 | 365,946 | 684 |
| 14 | 前年度繰上充用金 | 0 | 0 | 0 |
| 15 | 予備費 | 5,000 | 5,000 | 0 |
| 合計 | | 3,209,723 | 3,202,538 | 7,185 |

一般会計当初予算の主な質疑

議員 移住・定住コーディネートによる空き家対策と移住者受け入れ地域(自治会)組織等事業の推進にあたっては議会にも協議されたい。

課長 移住・定住コーディネートと関連した移住者受け入れ地域(自治会)組織団体創出の両事業を行う上で、事業がまとまった段階で議会に報告しすすめ

す。

議員 予算に元サンプラザの取得費が計上されているが、取得前に地権者との協議内容、跡地の共有部分等についても、議会と協議をされたい。

町長 町が取得した場合は当然共有部分の話も出るので、執行部だけでなく議会とも協議を重ねながらすすめたい。

議員 農業費にジャブ汁の予算がついている。一社だけでなく商工会も含めて大いに提供できる仕組み作りが出来ないか。

町長 各店舗で提供できるのか、まだそこまで至っていない。いずれはそのような方向を描いています。

議員 ソフトテニスの振興の為に新たにスポーツ指導員となられる方に町内に住んで頂くことはできないか。
町長 一つの条件として調整しましたが、家庭の事情

もありやむ得ないと判断をしました。

議員 基幹林道宝仏山線の見通しと展望は。
町長 宝仏山線は県が事業主体で、後谷の作業道に接続して完了となります。

議員 観光案内看板の作成は統一のデザインで進めると言うことだが、町内だけでなく、将来的には米子空港とか米子駅に設置される考えはありませんか。

課長 看板の設置は年次的に統一性・関連性を持ってすすめていきます。
町長 道路標識に案内看板設置を県にお願いしている。新しいパンフレットも作成しており人目の付くところにと考えている、空港とか米子駅については参考にしたい。

議員 交流センターのLED化に伴う電気料等の効果は。
課長 LED化によって電

気料がどの程度削減できたかは今のところはわかりません。

議員 防火水槽整備の予算が計上されているが、今後どのような計画になっていますか。
町長 何基設置するということではなく、消防署と調整をしながら、必要な場所等検証し地元との調整がついたところから随時設置することとしたい。

議員 町民運動会補助金の配分等の考え方は。
教育長 町民運動会に対する補助は一団体二万円を計上しています。参加団体が減少していますが、これを起爆剤に参加団体が増えればと思っております。

○一般会計・反対討論

佐々木 求議員
平成28年度予算は、地方創生の新たな事業が本格的に展開されようとしている

が、隣保館運営費を含めた多大な同和関連予算が計上されています。町政を運営する上で公正民主的な運営を望んでいるのが町民であり、これまでも予算や決算においても指摘をし、改善を求めてきたが、根拠法令がなくならなかった今日、一日も早く終結することが大事です。

○一般会計・賛成討論

中原 信男議員
本予算は、今、町が行うべき事業を政策的予算として考えた中で、地方創生を推進するための積極的な予算となっております。

移住・定住対策など人口減少の抑制を図る事業を始め、子育て支援、小・中学校の教育環境の整備、農林業の振興、医療・介護・福祉予算などに配慮されており、また人権施策も考慮されています。地域の活性化及び町民福祉の向上に資する予算となっております。

○採決

反対 佐々木 求議員
賛成 山形 克彦議員

結果

平成28年度一般会計当初予算は賛成多数で可決されました。
特別会計の6会計は、全会一致で可決されました。

議員表彰

安達 幸博議員
平成28年2月16日
鳥取県町村議会議長会から、議員として13年以上活動された功績を称えられ功労賞を受賞されました。





松本 利秋議員

自治会への支援は必要

答自ら考え行動する自治会に

議員 過疎と高齢化が急速に進む日野町。住民生活の基本は自助・共助に位置づけられるところの「住民自治」にあると思います。町内50自治会の年齢構成や生活実態はどうですか。

町長 集落によっては、高齢化率が60%を超え、将来存続が危ぶまれる集落があることも認識しています。高齢世帯の買い物や通院等の生活支援をはじめ、各

集落の個別、具体的な課題にしっかり対応し、昨年秋に策定した「きらり日野町創生戦略」を重点的に取り組みたいと思います。

議員 自治会の元気と活性化は、不可欠です。自治会等を支援する新規の地域活動交付金は、画一的ではなく柔軟性を持たせようではないですか。

町長 この交付金は自分た

ちで考え、行動し、自治会が元気になるようにと、設けました。住みなれた地で安心して暮らせる為に、高齢者の見守り、また日野病院などとの連携を図りながら今後、地域包括ケアシステムに取り組みたいと考えています。



「わが町支え愛活動計画」を作成する自治会



一人暮らしのお年寄り宅を訪問し、見守り

議員 集落維持が難しくなる自治会に、集落支援員や地域おこし協力隊を公で配置してはどうですか。

町長 本町は、町職員による地区担当を配置し、要望、相談などの連携・調整にあたってはいます。

集落支援員の配置は、今のところ考えはありません。また地域おこし協力隊は、集落・自治会などの受け入

れ態勢が重要であり、先駆的な取り組み地区をモデルにしたいと、要望があれば検討したいと思います。



中原 明議員

町債償還可能な歳入は

答交付税・基金等で

議員 町債発行額が、前年度対比17・3%増となっていますが、償還に必要な歳入見込みはどうですか。

町長 起債の償還は地方交付税、財政調整基金等で充当する計画です。

議員 過疎債、臨財債は、有利な制度だと、ハード事業等に取り組みましたが、巨額の地方債償還で財政危機に苦しんだ体験があります。

町長 町財政は、起債がなくては成り立たず、収入・支出のバランスは、借金総額20億円台です。財政の限度を見極めながら運営いたします。

町道近江線の 拡幅整備は

議員 地域住民から切実な思いで、拡幅整備の陳情が提出され、議会は現地調査の結果川沿いにガードレ

ルもなくカーブもきつく、生活道路であり、採択としたが、計画はどうですか。

町長 工事費もかなりかかりますが、早い時期に調査設計費を上げたいと思います。

議員 条例制定の際、施行後3年ないし5年、場合によっては10年後失効する旨の条文に盛り込みませんか。

町長 条例には、国の法律により制定する等、複雑ですが、事業の見直しもしい。そこが問題点で弾力的に取り組みたいです。

議員 定住対策に宅地造成して、定期借地権等で売出すのが得策ではないですか。

町長 諸問題がありますが意見として承ります。



近江・畑線現地調査



安達 幸博議員

光回線整備は

答 6月頃に結論

議員 光回線整備の考えをお聞きします。

町長 3業者の提案のいずれかで高速ブロードバンド整備を行います。

副町長 町民アンケートの結果を検討し、6月頃結論をだします。その後、設備等の財源確保、維持管理費等検討し、議会に相談し決定します。

調査費の予算計上は

議員 塔の峰公園の整備の考えをお聞きします。

町長 緊急雇用を活用して、公園に登る歩道や平和観音像周辺の草刈、清掃を行います。28年度中に検討委員会、調査費の予算計上をします。



塔の峰公園

歴史民俗資料館の

トイレは

議員 歴史民俗資料館の活用をお聞きします。

教育長 歴史民俗資料館として管理するか、根雨公会堂として保護が良いかを考えたと思います。

議員 根雨公会堂としての保護は、新たな考え方です。資料館友の会や文化保護審議会と十分協議をしてほしいです。前回提案したトイレ改修の考え方を尋ねます。

教育長 現トイレを外からも使用する改修を考えていますが、資料館友の会、文化保護審議会、トイレも含め歴史的文化財という意見なので、その調整がつかないと改修にかかれません。

議員 別途、外付けのトイレの考えはありませんか。

町長 厳しい財政の本町では、今のトイレを改修することがベターだと思います。文化財として残す価値は無いと思います。



歴史民俗資料館

防災対策と観光振興

答切れ目のない情報収集



中原 信男議員

議員 土砂災害から住民を守る防災対策について伺います。

一、大雨時の情報収集の現状は

二、危険が予想される事態が発生したときの関係地区住民への情報提供の方法は

三、各自治会の避難場所は確保され、その場所は安全であるか

町長 大雨時の情報収集については、気象庁や鳥取県などから提供される切れ目のない情報収集を行っております。

関係地区住民への情報提供の方法は、防災行政無線など多様な伝達手段を複数活用し、早い段階で注意喚起を行っております。

避難場所については、自治会ごとに施設等を決めて報告をいただいております。必ずしも安全にしながらない場合もありますので、各学校の体育館などの町指定の避難所で受け入れる体制を整えることしております。



日野振興センターの雨量計

金持神社の駐車場と

トイレの整備

議員 金持神社参拝者の増加による町に対する経済波及効果は、非常に大きなものになっていると考えます。

町長 来年度トイレの改修を実施するが、規模の変更はしないとの県の回答でございまして。国道沿いの土地購入については、課題も少なくないと認識しております。将来に向かってご意見を尊重して、新たな行動をとってみたいと考えます。



駐車場にあるトイレ



山形 克彦議員

魅力ある店づくりの支援策を

答町の食文化の向上に

議員 プレミアム付き商品券を購入された世帯は518世帯で、町内全世帯の約3分の1強ですが、消費の喚起に繋がったとは言えない。商品券を追加しより多くの町民の皆さんが幅広く恩恵を被るような配慮はできませんか。

町長 商工会とも相談したが、発行については、幅広く町民全体に渡るようにすれば良かった。

議員 昼食限定スタンプラリーについて新年度も予算が計上されている。新たな



スタンプラリー-食事券

計画で魅力ある店づくりを支援し、町の活性化を図れるのかうかがいます。

町長 新年度は、引き続き利用拡大を目指し、パンフレットを作成するなど地域の活性化を目的に費用の一部を支援したい。

議員 観光協会の協力を得て、金持神社に参拝された方に、札所で食事マップや食事割引券をお渡しして、町中に呼び込んではどうですか。

町長 同感で、28年度は特

色あるパンフレットを作成し、町の食文化の向上となるものとしたい。

根雨社会体育館 跡地利用は

議員 跡地を駐車場として整備されたが、現在も全く利用されていない。今後の計画はどうか。

町長 貸付価格と面積が合意に至らなかった、価格は町が地権者から借り受けた単価と同額の提示をしたが、日翔会との意見の相違があ



根雨社会体育館跡地

議員 放置は全くの無駄な支出であり、地権者に返還するなど早々に対応され、歳出の抑制を図られてはどうか。

町長 利用の見込みがなくなれば返還を検討する必要もあるが、建物の敷地を含め一括して平成35年3月末まで借地契約をしており、今後も日翔会と話を継続したい。

男女共同参画推進条例制定を

答プランの自己評価の後検討



佐々木 求議員



男女共同参画プラン

議員 平成28年は「子育て支援、若者定住、医療・保健・福祉の連携で人口減対策・にぎわい創出を図る」としているが、実現の要に女性の力は大切で、女性の社会的地位の向上や男女格差解消の課題は避けて通れません。

町長 女性の地位と権利が、しっかりと守られ保証されることで実現できる課題です。3月8日は国際女性デーでした。政府の取り組みを具体化しないと基本的な前進がない課題が多いですが、地方から条例を制定し、国を動かす時ではないでしょうか。



政に反映させることは、とても大事なことです。

議員 女性の力をあらゆる分野で見直し、町の向かうべき方向を掲げて、そこに向かっていく姿勢を鮮明に、検証していくためにも条例化は大事です。

町長 男女共同参画プラン平成25～29年の評価が出来ていません。評価の結果、条例という手法によるべき課題が明らかになれば、その時点で検討したい。プランの評価委員会を設置し、第1回目の評価委員会開催に向けて準備を進めていきたい。

実施出来ている取り組みがある一方、委員会・審議会など女性登用率など未達成なものもあります。女性の視点や意見を町行

町長 順序を踏んでいきたい。それで本質が分かる。私は条例ありきではない。検証結果を見ながら進めた



松尾 信孝議員

今後の観光政策の方向性は

答町が積極的にかかわる時期に来ている



案内板が設置された根雨駅

議員 本町には観光にかかわる組織として「観光協会」「商工会」「役場」があるが、それぞれの役割をどう考えますか。

町長 日野町は民間レベルの観光活動が盛んであるところが特色であり、町の役割は、情報発信、案内板設置など、観光振興の下支えと考えます。

議員 民間主体は活力でもあるが、限界もある。継続性（後継者）や、駐車場、

トイレなどの設備投資の問題など。町も積極的にかかわるべきと考えますが。

町長 財政危機のなか民間の方々には頑張ってきていただきました。町もようやく財政的に少し余裕のある状況にまで来ました。町内の観光資源に対する財政的な支援とともに、役場の中に「観光課」のような観光を主管する部署の設置も考える時期に来ていると思っています。

根雨駅周辺 トイレの設置

議員 来年度予算に「根雨駅利用促進策」が盛り込まれています。12月議会でも指摘しましたが、急務である町内トイレの整備として、観光政策的にも根雨駅周辺トイレの整備を検討されたいかがですか。

町長 根雨駅トイレの問題につきましては、JRも同じ問題意識を持っておりま

して、早い時期に設計協議のようなものに入りたいと思っております。

議員 都合山たたらの今後の展開は。

副町長 活用検討委員会で、遺構の整備とともに、その果たした役割の重要さに鑑み、近藤家住宅を中心とした街並み保存という観点も重視した報告があると聞いております。



近藤家住宅

久住地区住民と議会

意見交換会

日時 平成28年2月7日
久住地区集会所 15名参加

小谷議長、松本自治会長の挨拶のあと、総務経済常任委員会と教育民生常任委員会の各委員長より、委員会活動の報告と説明を行い、引き続き住民の皆さんからの質疑、要望に応えるかたちで意見交換会が行われました。

住民の皆さんからは

●視察や意見交換会で得た情報をどのように活動にかしているのか見えないが。
●「陳情」は一度出せば何度も出す必要はないと聞いていたが、最近それでもないという話も聞く。どうなっているのか。

●町内の介護施設との意見交換会の話が出たが、自分たちのように経済的な余裕がなく、介護施設に入れない状況が不安だ。

現在町内に独居老人の数は何人くらいいるかつかんでいるか。

等々、14項目にわたる質問や意見が出されました。

最後に、「このように出かけてきて声を聞いてもらう機会を持っていただき本当に感謝している。ただ、これまでいろいろお願いしても答えが返ってこない。文章にして回答してもらえないか」との要望があり、

広報委員長から文章で回答する旨の約束をし、中原副議長の閉会の辞をもって散会となった。



久住地区集会所

議会としては今後も各地区に出かけ、直接住民の皆様からの議会、町政に対するご意見、ご要望をお聞きする機会を持っていきたいと思っております。どうぞお気軽に議会事務局までお問い合わせください。
(電話72-0335)



久住のみなさん、ありがとうございました。

総務経済常任委員会 活動報告

交通空白区域の解消は本町が先進地 2月3日 研修会開催

倉吉市で交通ジャーナリスト鈴木文彦氏によるデマンド交通の研修会が開催され参加しました。高齢化、人口減少社会でバス路線でカバーできない



新しく購入された町営バス

交通空白地域の解消にデマンド交通が始まり、山口市等のタクシー活用による運用効果、コスト削減の実績の説明がありました。本町の町営バス事業とタ

クシーの補助事業は、交通空白区域を解消し、狭間対象者救済推進で、すべての住民に平等化が図られており先進的であると感じました。

継続調査としている案件

- 地方創生戦略の進捗状況。
- 元サンプラザ有効活用検討委員会の協議内容。

○町営バス事業経営実績の状況。

○プレミアム付き地域振興券、スタンプラリー。

いずれも担当課に資料請求を求めて継続調査をしています。

陳情・請願案件は

- 根雨6区権現谷溪流水路について。
- 町道近江畑線拡幅整備について。
- 取り組み状況を担当課の報告を受け、推進するよう提言しました。
- 「TPP協定を国会で推進しないことを求める請願」については、TPP協定による地域の農林業保全、国益が保たれるか、参加国の状況を見極める必要があり、継続審査としました。



地方創生戦略会議

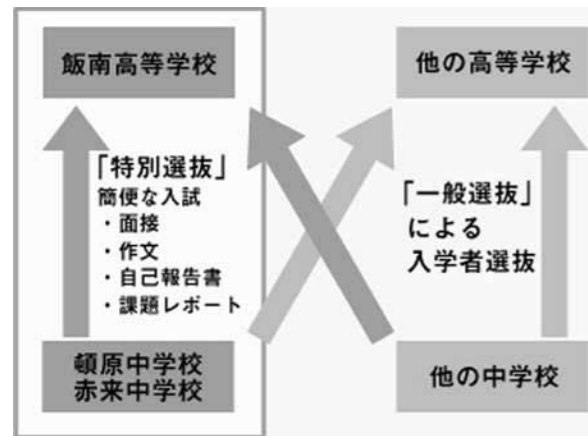
教育民生常任委員会活動

島根県立飯南高等学校 視察研修報告

視察日 平成28年2月4日

委員会は、「保小中高一貫教育」の取り組みと、「中高一貫教育」の現状を視察しました。企画政策課長と日野高校魅力向上コーディネーターも同行して、情報を共有することとしました。

飯南高校の吉田校長（元



飯南町連携型中高一貫教育の入学選抜のしくみ

飯南型 キャリア教育
「中高一貫教育の意義」
社会が定めている常識的な「枠」を飛び出して、現状に一番あった教育を実行する。
その事例として「一緒に部活を行う」「中学校の

先生が高校の授業に参加する」などです。人口減少は、飯南町も例外ではなく、平成24年には、町の企画財政課に推進プロジェクトを発足し、学校と町民が本音で議論できる具体的なプログラム「魅力探し」を提案しました。高校存続が困難な中、町内の二つの中学校からの「特別選抜」を導入しています。

「ふるさと納税」を有効活用

行政が子供たちの為に公営塾や寄宿舎の運営やスクールバスの運行など、ふるさと納税を有効活用し、町外からも積極的な生徒募集をする等、サポートが出来ています。

委員会は、片平コーディネーターと今後も定期的な情報交換を行い、日野高校の魅力向上に向けて議論をすすめてまいります。

意見書の提出

飯南町は、人口5,208人・世帯数2,104世帯・高齢化率42.06%で、広島県と隣接し、国道53号線を迂回する松江〜三次〜尾道自動車道の開通に伴い町の様相が大きく変化している。



平成27年に改築された学生寮、（男女共に入寮可能）寮生には、寮母さんから学校に、「あたたかい手作り弁当」が届けられる。

割引制度の適用を求める意見書
いずれも採択し関係大臣他へ送付されました。

特集 行動

がんばっている人・団体を、シリーズで紹介しています。

頑張ってます！

おしどり作業所

こんにちは！「おしどり作業所」です。

おしどり作業所は「障がい者も働きたい」「友達が欲しい」「体を慣らしたい」「居場所が欲しい」などの願いを持った障がい者、保護者の声を聞き、平成2

年に根雨保健所の一室でスタートしました。

利用者が増え手狭になったので、平成8年度から国・県・日野郡4町（当時）から補助金を受け、現在の場所（旧黒坂郵便局跡）に小規模作業所として



家族会が運営してきました。

その後、平成18年「障害者自立支援法」が施行され、就労支援B型事業所に変わり、運営も日野町社会福祉協議会に移行されました。

障がい者に就労の機会を提供し、職業能力の向上を図ること
が目的です。
今、精神障がい者、知的障がい者、身体障がい者の方が通所して作業をしています。



好評の菜種油

受託作業（内職）、菓子製造販売、清掃作業、白ネギ出荷作業、菜種油搾油・販売などを行っています。

特に菜種油は、日野郡3町の農家の方に菜種を持って来て頂き、搾油機で搾り、ビン詰にして販売しています。

「香ばしい匂いがする」「懐かしい」と、毎年新ものが出るのを楽しみにしています。
（指導員 藤岡公子記）

あとがき

3月定例会が、3月17日閉会し、平成28年度予算が定まりました。

本年度は、いよいよ地方創生事業が本格的に動きだします。私たち議員は、一つ一つの事業の成果と効果を検証しつつ日野町の発展に資するよう努めてまいります。

町民のみなさんには、議会活動に対しさまざまなご意見、ご要望を、お寄せ頂ければ幸いです。

今後も、住民のみなさんが安心・安全で暮らせるまちづくりに全力投球する覚悟であります。宜しくお願いいたします。

（中原 信男記）

議会広報常任委員会

委員長 佐々木 求
副委員長 松尾 信孝

松本 利秋
中原 信男
金川 守仁
山形 克彦